



川崎プロボノ部 2023



主催：  川崎市
KAWASAKI CITY

企画運営：



Shimin Shikin
市民共済 社会福祉事業部

令和5年度 活動事例の紹介



川崎プロボノ部2023

▶ 団体支援プロボノ

川崎市で多様な活動をしている7団体に対して

プロボノワーカー 33名、運営委員 9名で 団体の課題解決を支援

▶ 町内会・自治会向けLINE公式アカウント活用講座

いままでの町内会・自治会支援のノウハウを生かして

プロボノワーカー 3名、運営委員 3名で 40の町内会・自治会向けに実施

▶ プロボノワーカーは

社会人経験数年の若手から40年以上のシニアまで多様な経験・スキルを持った方々が参加

事後アンケートで高い満足度(全体として参加してよかったか?)

プロボノワーカーは91%

団体は100%

団体支援プロボノ・・・支援団体と支援内容・体制

NO	種別	団体名称	活動拠点	支援内容	参加ワーカー	運営委員
1	任意団体	こどものまちミニカワサキ	中原区	事業戦略	4名	1名
2	認定NPO法人	フリースペースたまりば	高津区	資金調達 支援者開拓	5名	1名
3	任意団体	みんなのさいわい	幸区	情報発信	5名	1名
4	任意団体	子育て支援グループ 「いいんだよ」	中原区	情報発信	5名	1名
5	任意団体	三田サポートわなり	多摩区	課題整理ワーク ショップ	4名	1名
6	任意団体	ホッとスペース・和	宮前区	組織運営 資金調達	5名	1名
7	特定NPO法人	キーパーソン21	川崎区	資金調達 支援者開拓	5名	1名

町内会・自治会向けLINE公式アカウント活用講座・・・参加町内会・自治会数

講座名	川崎区	幸区	高津区	中原区	宮前区	多摩区	麻生区
講座①入門編	6	7	4	7	4	5	7
講座②作り方編	6	5	4	5	4	4	5
講座③運用編	1	1	1	0	3	1	1

団体支援プロボノ・・・活動紹介

1. こどものまちミニカワサキ

1) 団体の活動内容（中原区）

2018年3月に、横浜市都筑区で行われた「ミニヨコハマシティ」を見学した大人が「かわさきでもやってみたい!」という想いから企画をスタート
子どもたちが「市民」として登録され、子どもだけで「こどものためのまち」を企画運営するプログラムを実施中

2) 支援内容・・・事業戦略

団体の現在地、将来像、この間のギャップを確認し、今後大人の支援者を増やしたり、かわかる大人を育成するためにはどのような取り組みをしていけば良いか、成果指標(KPI)をどう定めるか等を検討する一連のプロセスの企画、実行を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

4名で支援。期間は3か月。

「クレド」とその浸透方法の作成をゴールに、検討や団体とのMTGプロセスに

①ワークショップ方式採用する

②ITツールを活用した議論やその整理を行う

ことで、「皆でアイデアを出しながらの議論」や、そのために必要な「皆の意見の集約」を効率的、効果的に実施することができた。



© 2023 KAWASAKI Shimin Shikin

2. 認定NPO法人 フリースペースたまりば

1) 団体の活動内容（高津区）

「フリースペースたまりば」は学校や家庭・地域の中に自分の「居場所」を見いだせない子どもや若者たちの居場所として、こども夢パーク、フリースペースえん等を運営している。2020年には、コロナ禍で食べることが困難になった子どもとその家族を支援する目的で「えんくる」を設立している

2) 支援内容・・・資金調達・支援者開拓

「えんくる」の運営のための新たな財源として、毎月一定額を寄付してもらうくみの構築を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

5名で支援。期間は3か月。

以前から時間と人が不足して準備ができなかった常設型のクラウドファンディングの導入をサポート内容と設定し、クラファンサイトの調査、ページ制作、広報等のタスクを適宜分担しながら進めることができた。



団体支援プロボノ・・・活動紹介

3. みんなのさいわい

1) 団体の活動内容（幸区を拠点に広く国内）

川崎市内だけでなく、広く全国のNPO団体、非営利団体等を対象に、プロボノ活動として、ウェブサイトの作成支援、ITツールの導入支援、クラファンの伴走支援やファンドレージング（資金調達）等の支援をオーダーメイドで行っている

2) 支援内容・・・情報発信

今後も継続的にプロボノ活動を実施し、社会貢献をしていくために、ワーカー募集の仕方を見直し、改善策の立案を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

5名で支援。期間は3か月。

「情報発信」から「ワーカーの参画」「活動の活性化」までの循環を『みんなのさいわい運営サイクル』として可視化するという手法を取り、主な施策と優先順位を提案することができた。チームメンバーで登山やスポーツ観戦をしたり、団体の活動に積極的に参加する等、「心理的安全性」の確保に留意したことが良かった。



© 2023 KAWASAKI Shimin Shikin

4. 子育て支援グループ いいんだよ

1) 団体の活動内容（中原区）

中原区を拠点に、実家が遠方で頼り先が無いなどの理由で、ワンオペ育児をしているママ達の支援を行うことを目的に

①コワーキング親子サロン②子育て支援基礎講座等を実施している

2) 支援内容・・・情報発信

ボランティア募集や活動紹介のための効果的な広報活動の立案を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

広報活動用のガイドブック、具体的なチラシ案等を提供をゴールに活動を進めた。

「子育て真っ最中」のメンバーがいたこともあり、活動に共感はしていても、なかなかメンバー同士でのMTG等が設定しにくかった。しかし、メンバー個々のスキルが高いこともあり、合理的な役割分担をして、団体さんの期待に応えることができた。



団体支援プロボノ・・・活動紹介

5. 三田サポート わなり

1) 団体の活動内容（多摩区）

西三田団地内で、カフェを拠点に、高齢者の生活支援のお手伝い、三田小学校寺子屋事業などを行いながら、いずれの世代にとっても住みやすいまちづくりを目指している。カフェは仲間づくり、喫茶、サークル・講座、情報交換、情報発信の場となっている

2) 支援内容・・・課題整理ワークショップ

スタッフの高齢化と若い世代のスタッフの不足、利用者が漸減している中、現状の課題を整理、その優先順位付けを行い、将来の運営のあり方を考える場の設計と運営を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

4名で支援。期間は4か月。

ワークショップを通じて得た気づき・発見を成果物・ゴールとして、「プロボノ活動は2024年1月で終わっても、団体の活動は続く」を意識して、何ができるかを議論した。定例MTGをカフェ・わなりで行う等、団体と一緒に「楽しむ」事も大事にした。



© 2023 KAWASAKI Shimin Shikin

6. ホツとスペース・和

1) 団体の活動内容（宮前区）

地域食堂として、誰でも来られる場として活動中。子どもたちだけでなく、子育て中の保護者、高齢者、地域住民の方が集まって食卓を囲み交流できる地域のコミュニティ作りを目指している

2) 支援内容・・・組織運営・資金調達

自立した活動をするための財源を確保する事、団体としての運営のノウハウを確立する事の2点についての課題を洗いなおして、それぞれの施策の立案を支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

5名で支援。期間は3か月。

団体と3か月間で出来る事として①業務マニュアル作成②団体の魅力の掘起し③NPO法人化のProsCons提案をゴールとすることを共有して活動を進めた。

居場所の様子
（蔵敷）



個人・団体様からのご支援

ご寄付
旬の野菜、バナナ、乳酸飲料
水沢森人の会、はぐるま農園
会場の使用
蔵敷自治会館、神奈川団地自治会館



団体支援プロボノ・・・活動紹介

7. 特定NPO法人 キーパーソン21

1) 団体の活動内容（川崎区を拠点に国内）

あらゆる立場の大人たちがごちゃ混ぜになって、本気で子どもたちを育て、すべての人、子どもと大人も、自分を活かして、生き生きとして生きる社会の実現を目指し、独自に開発したキャリア教育プログラムを日本全国の子どもたちに届ける活動をメインに活動している

2) 支援内容・・・資金調達・支援者開拓

財源の確保手段として既存のマンスリーサポーター制度も含めて、実効ある寄付のスキーム作りを支援する

3) 支援メンバー、支援期間、支援のポイント

5名で支援。期間は3か月。

団体との間で、活動のゴールはどこにする、それはなぜか等を詰めていくプロセスに工夫と時間をかけた。

結果、寄付をする側が、寄付をしたくなるように背中を押す施策・打ち手をアイデア集として、寄付募集のチラシ案とともに提案することができた。



町内会・自治会向けLINE公式アカウント活用講座・・・活動紹介

1. 活動の目的

川崎プロボノ部のプッシュ型の企画として「町内会・自治会向けLINE公式アカウント」講座をトライアル実施する。

2. 活動の背景

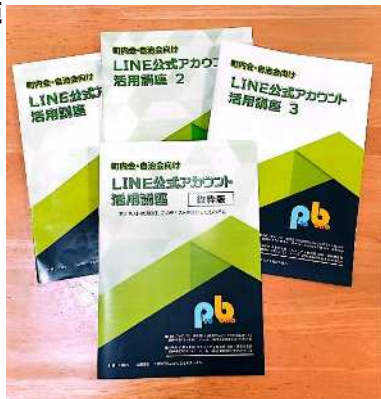
川崎プロボノ部2022で、宮前区の町内会さんの「LINE公式アカウントの導入」を支援したワーカー、運営委員から、この支援経験を生かしてプッシュ型支援プログラムを作成し、多くの町内会・自治会向けに展開できないかという声があがった。一方、川崎プロボノ部は、町内会・自治会からデジタルツールを用いた広報活動の支援を依頼されることが多く、町内会・自治会に関わらずその中身は類似している。そこで、声をあげてくれたワーカーを中心に、「LINE公式アカウント活用講座」を設計、トライアル実施することとした。

3. 活動の内容

1) メンバー 川崎プロボノ部2022で、町内会内の回覧板のデジタル化、具体的にはLINE公式アカウント導入を支援した運営委員、プロボノワーカー達より構成（事務局2、運営委員2、プロボノワーカー3（内1名は団体支援プロボノ兼務）の合計7名）
2) 講座設計・教材作成 参加者の多くが高齢でデジタル技術に疎いことを勘案し、高齢者向けスマホ講座の実施経験者の助言も得て、平易かつ詰め込まないことを基本にして、7名の共同作業で講座設計、教材の作成を実施

4. 活動の結果

トライアル実施にも関わらず講座①基本講座には40の町内会・自治会が参加
現在、6町内会・自治会で導入が進んでいる。



講座名称	講座① LINE公式アカウント の基本講座	講座② LINE公式アカウントの 作り方講座	講座③ LINE公式アカウントの 運用講座
実施日程	11月に4回	12月に4回	1～3月に8回
内容と達成目標	LINE公式アカウントの特徴を知って、自分の町内会・自治会での必要性の判断が出来る。	1)実習を通じて、LINE公式アカウントの作り方、発信の仕方が理解できている 2)教材、配布資料も使って、復習をすれば出来るそうだと思っている	1)講座②の再実施を行い、復習と他の関係者（役員、広報担当など）の周知ができている 2)LINE公式アカウントへの資料掲載のやり方・リッチメニュー・絞り込み配信のやり方の説明及実習を行い、自力で運用できるようになっている
対象者	意思決定者 広報担当者	意思決定者 広報担当者	広報担当者 一般会員
講座形式	教室の授業形式	教室の授業形式	町内会での個別指導形式
参加した 町内会・自治会	40	33	8



団体支援プロボノ・・・アンケート結果

支援団体

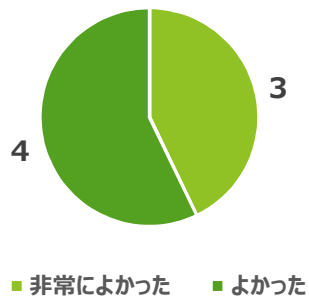


図 1 今回の「川崎プロボノ部2023」に参加して全体としてよかったと思いますか

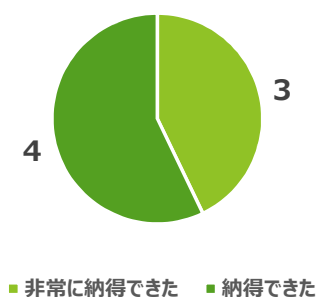


図 2 プロボノチームの提案内容は納得のいくものでしたか

プロボノワーカー

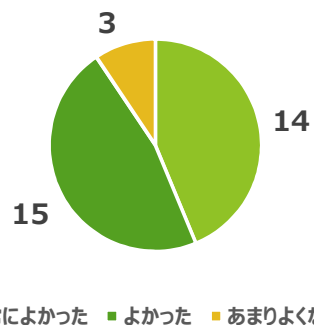


図 4 今回の「川崎プロボノ部2023」に参加して全体としてよかったと思いますか

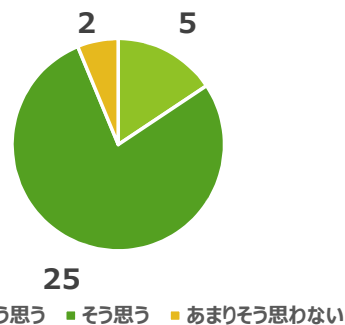


図 5 川崎プロボノ部を通じてサポート先団体の抱える課題は整理できましたか

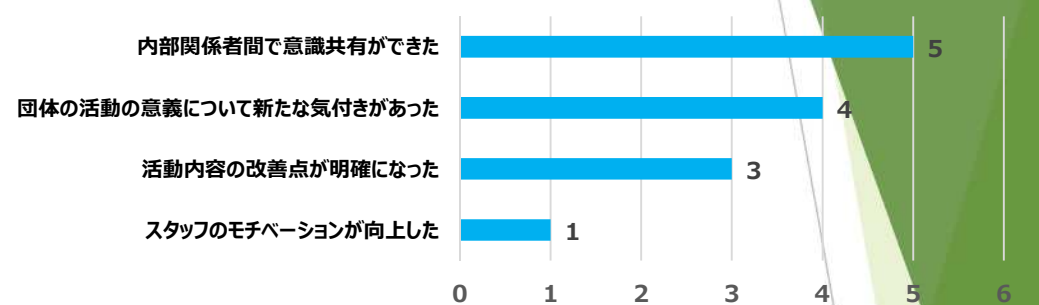


図 3 プロボノ活動を経て、貴団体の内部に意識の変化はありましたか？(あてはまるものすべてを選んでください)

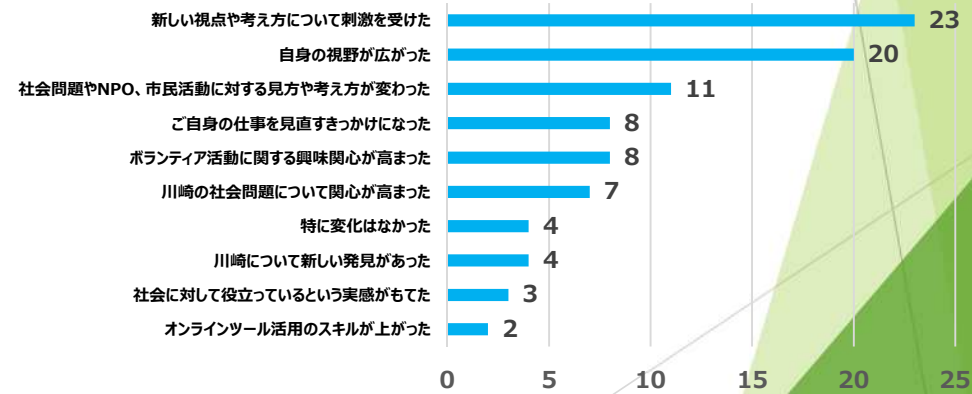


図 6 今回の川崎プロボノ部への参加を経て、ご自身に何か変化はありましたか？(あてはまるものすべてを選んでください)

町内会・自治会向けLINE公式アカウント活用講座・・・アンケート結果

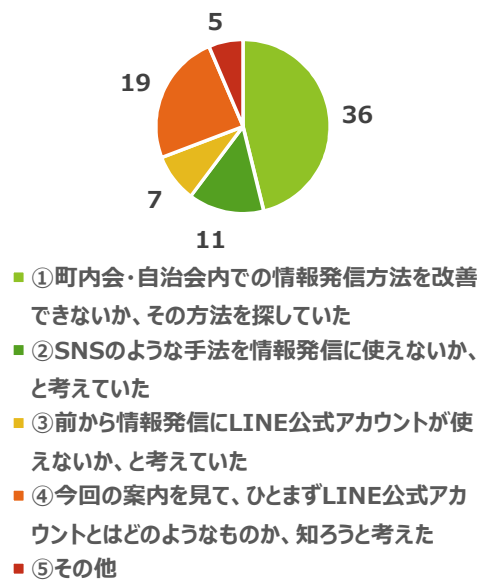


図 7 講座に参加の動機はなんですか

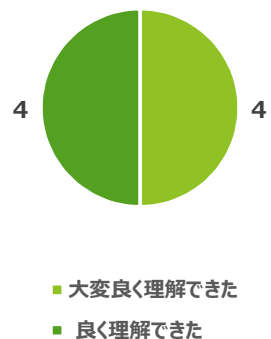


図 1 0 運用講座は理解できましたか



図 8 基本講座は理解できましたか

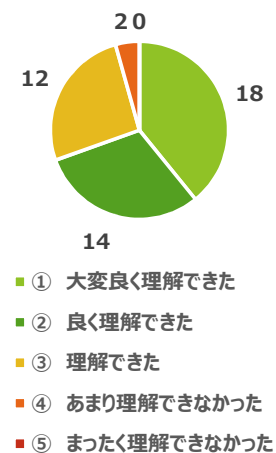


図 9 作り方講座は理解できましたか